

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●丸山元気騎手がJRA通算600勝を達成

9月17日(土)の4回中山3日・第6レースではオンマガトオルが1着となり、同馬に騎乗した丸山元気騎手(美浦・根本康広厩舎)は、史上79人目、現役では33人目となるJRA通算600勝(8503戦目)を達成しました。

●横山和生騎手がJRA通算300勝を達成

9月19日(祝・月)の4回中山5日・第7レースではパワーブローキングが1着となり、同馬に騎乗した横山和生騎手(美浦・フリー)は、現役52人目となるJRA通算300勝(4758戦目)を達成しました。

●川田将雅騎手がJRA通算1800勝を達成

9月19日(祝・月)の5回中京5日・第9レースとして行われた金山特別ではレッドバリエンテが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上12人目、現役では6人目となるJRA通算1800勝(1万1469戦目)を達成しました。

●サークルオブライフが故障

2021年阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)などの勝ち馬サークルオブライフ(牝3歳/美浦・国枝栄厩舎)は、右前浅屈腱炎を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。

●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2017年チャレンジC(GIII)の勝ち馬サトノクロニクル(牡8歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算30戦3勝)、2021年愛知杯(GIII)の勝ち馬マジックキャッスル(牝5歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算17戦2勝)、2019年エプソムC(GIII)の勝ち馬レイエンダ(騾7歳/美浦・蛭名正義厩舎/JRA通算21戦4勝)は、8月31日(水)までに競走馬登録を抹消されました。サトノクロニクルとレイエンダは乗馬となる予定ですが行先は未定。マジックキャッスルは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●オーバルスプリント(浦和)で人気のシャマルがJpnIII 3勝目

オーバルスプリント(JpnIII、9月21日、浦和、1400m)は、3番手から直線に入って間もなく抜け出した単勝1.9倍で断然人気のシャマル(川須栄彦騎手、牡4歳、父スマートファルコン)が、3番人気のリメイクに1馬身半差で完勝。2番人気のティーズダンク(浦和)は3着、オーバルシャルムは5着、イバルは6着でした。

●フジラブンツェルがビギナーズC大差勝ち【各地の主要2歳重賞】

ビギナーズC(9月6日、盛岡、1400m)は、出遅れて最後方から徐々に位置取りを上げたフジラブンツェル(牝、父メイショウポラー)が4コーナーで先頭に立って2着馬に1秒9の大差を付け、単勝1.2倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を5に伸ばしました。イノセントC(9月8日、門別、1200m)は、逃げた2番人気のスペシャルエックス(牡、父ダノンレジェンド)が後続をクビ差振り切り、こちらも無傷の3連勝となっています。

●西日本ダービーは金沢のスーパーバンタム【各地の主要3歳重賞】

西日本デビュー馬限定戦の西日本ダービー(9月15日、園田、1870m)は、2番手を追走した単勝1.3倍で圧倒的人気の高金沢からの遠征馬スーパーバンタム(牝、父アポロソニック)がゴール前で差し切り勝ち。戸塚記念(9月15日、川崎、2100m)は、中国から追い上げた1番人気のスピーディキック(牝、父タイセイレジェンド)が直線に入って間もなく抜け出し、3馬身差の楽勝を収めました。

●ノットゥルノらが出走、9月28日の日本テレビ盃(船橋)

日本テレビ盃(JpnII、9月28日、船橋、1800m)は、3歳のノットゥルノ、ペイシャエス、クラウンプライドが、古馬フルデブスライダー、サルサディオオーネ(大井)らに挑む構図となります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●フライトラインに歴史的な高評価

今年1月1日から9月11日までに行われたレースを対象とした「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が国際競馬統括機関連盟(IFHA)から発表されました。トップに立ったのはアメリカのフライトライン(牡4歳、父タビット、J.サドラー厩舎)。19馬身1/4馬身差で圧勝した現地9月3日のG1パシフィッククラシック(ダート2000m)がレーティング139の評価を受けました。このレーティングは2004年にワールドサラブレッドランキングが創設されて以降では2012年のフランケル(140)に次いで2番目に高く、ダートに限れば1996年のシガー(135)を上回る過去最高の評価となりました。

●G1ウッドバインマイル〜モダンゲームズが快勝

9月17日にカナダのウッドバイン競馬場で行われたG1ウッドバインマイル(3歳上、芝1600m)は、W.ビュイック騎手が騎乗したイギリスからの遠征馬モダンゲームズ(牡3歳、父ドバウイ、C.アップルビー厩舎)が5馬身1/4差で快勝しました。モダンゲームズは昨年11月のG1ブリーダーズCジュベナイルターフ(芝1600m)でG1初制覇。続いて今季初戦のG1仏2000ギニー(芝1600m)も制しましたが、その後はG1仏ダービー3着、G1ジャンプラ賞5着、G1サセックスS2着と3連敗を喫していました。